

2. 世界経済を牽引する企業が立地する洗練された文化都市

④経済活力と豊かな暮らしがバランスした新しい居住共存モデルを構築する。

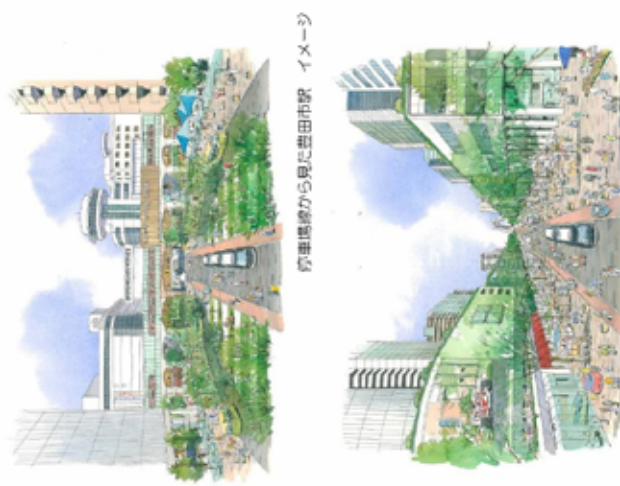
- 充実したワークタイムを過ごせる居住共存プロジェクトの実施
- 多様な都市型のライフスタイルを支援する住宅供給の誘導



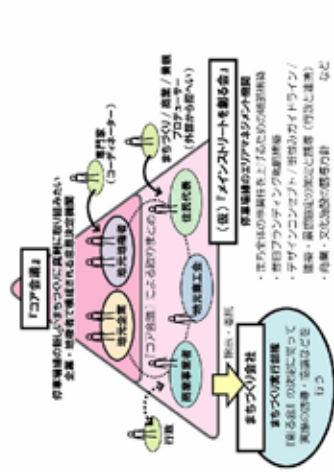
職・住・学・遊が一体になった新しいイメージ

⑤戦略的なまちづくり組織を中心に、都心に品格ある景観をつくり、にぎわいを高める。

- 〈仮〉メインストリートを創る会を中心とした、停車場線の商業空間と街並みづくり
- 〈仮〉メインストリートを創る会によるブランディングと情報発信



豊田市駅から見た停車場線 イメージ



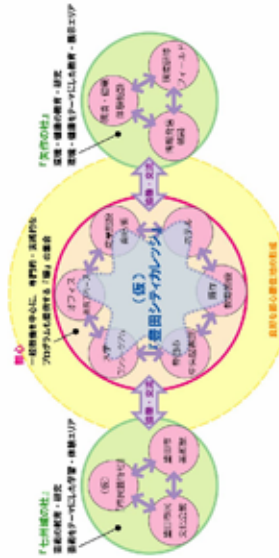
(仮)『メインストリートを創る会』ダイアグラム

⑥郷土生活を楽しみ豊かな都心文化を育む多様な教育・学習環境を醸成する。

- 〈仮〉豊田シティカレッジ』構想の実現
- 教育・研究・学習の『社』の創造
- 多元的な交流による教育レベルの向上と都心居住の促進



『実作の社』 イメージ



(仮)『豊田シティカレッジ』と2つの『社』構築図 ダイアグラム

3. 世界が抱える『かしい交通社会』が実現した交通モデル都市

⑦交通新システムの導入など、公共交通が快適に利用できる先達の環境を整備する。

- 広域公共交通ネットワークの充実
- 都心にアクセスしやすい交通新システムの実現
- 快適で移動しやすい公共交通サービスの実現



交通新システム イメージ



トランジットモール イメージ



交通新システムネットワーク段階展開イメージ

⑧歩行者と公共交通が優先され、歩行者が安全・安心に回遊できる都市をつくる。

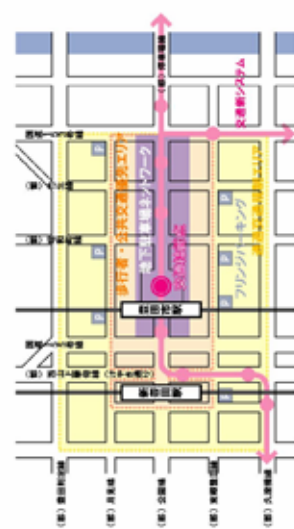
- 停車場線のトランジットモール化と、その周辺地区の歩行者・公共交通優先エリアの実現
- 大規模地下駐車場ネットワークの形成



停車場線の断面イメージ



トランジットモール 断面イメージ



都心付東交通ネットワーク

⑨ITS を活用し、人と車の未来を見せる『かしい交通社会』を実現する。

- 安全運転支援システムの導入
- 快適で楽しい移動を支える ITS (高度道路交通システム)・地域交通システムの導入
- 市民のライフスタイルや環境に対する意識の変革
- 『かしい交通社会』を資源とする世界からの観光客誘致



地域交通システムの例 (京園口バス)



カーナビの経路提供



安全運転支援システムの導入



歩行者移動支援

歩行者移動支援

(参考)

都心部将来交通ビジョン像



(将来交通ビジョンイメージ)

- 道路ネットワークの完成及び自動車の適正なコントロール
 - ・外環状線、内環状線、都心外周道路などの整備を実施し、都心部への通過交通を排除するとともに、国道153号、248号など都心東西・南北軸の強化など都市基盤を構築する。
 - ・「通過交通規制エリア」では、パーキングデポジットシステムを導入し、通過交通排除、駐車場のコントロールを図る。
 - ・「歩行者・公共交通優先エリア」では、自動車の通行を制限し、歩行者、公共交通を中心とする利用形態とする。都心へのアクセスが必要な車両については、フリーパーキングや地下駐車場の整備することにより利便を図る。
 - ・ETC、インターチェンジ（スマートインターチェンジ）の活用等により、通勤・物流交通などの高速道路への利用転換を促進するとともに、高速道路の有効利用を図る。
 - ・ITS技術を活用し、快適で楽しい移動を支える地域交通システムの導入を図る。
- 公共交通の整備イメージ
 - ・名鉄三河線の複線・高架化、愛知環状鉄道の複線化、都市間高速バスなどの強化により名古屋への利便性の向上に加えて中部国際空港へのアクセスも強化する。
 - ・基幹バス、地域バスネットワークとともに、交通新システムの導入により駅前広場を中心とする交通結節点整備を図り、公共交通ネットワークを充実させる。
 - ・共通ICカードの普及、P&Rやカーシェアリング・レンタサイクルなどにより、各種公共交通への乗り継ぎ、料金を含めた制度の充実を図る。
 - ・都心イベント時には、高速道路などを利用したP&Rシステムを導入し、都心までの移動快適化を図る。また、駐車場誘導システムを導入し、都心周辺の駐車場の有効利用を行う。
- 都心部にぎわい空間の創出（歩行者・自転車ネットワーク）
 - ・交通新システムの導入や公共交通の充実を図り、より快適に都心へアクセスできる環境を整える。
 - ・停車場線をトランジットモール化し、交通新システムを含めた公共交通機関の導入空間とするとともに、地上を街の顔となる市民のにぎわい創出空間（オープンカフェ、イベント開催空間等）と位置づける。
 - ・自然や水にふれあうことのできる歩行者ネットワークを整備し、市民活動をサポートする。
 - ・レンタサイクル、未来型モビリティシステムの拡充など、都心での移動をサポートする環境を整備する。
 - ・居住者に対する健康エコポイントプログラムの実施、来街者に対する観光周遊プログラムの実施など、市民活動、健康をサポートする。

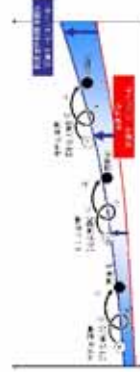
エリアイメージ



「歩行者・公共交通優先エリア」
当該エリアでは主に空間を歩行者・公共交通を中心とする環境とするとし、自動車の通行は歩行者・来街者などために目的を付与した歩行者・公共交通のみに限定し、歩行者・歩行者・歩行者の安全に留意する。
「交通優先エリア」
当該エリアでは主に空間を歩行者・公共交通の安全を確保し、歩行者・歩行者・歩行者の安全に留意する。
「歩行者・公共交通優先エリア」
当該エリアでは主に空間を歩行者・公共交通の安全を確保し、歩行者・歩行者・歩行者の安全に留意する。
「歩行者・公共交通優先エリア」
当該エリアでは主に空間を歩行者・公共交通の安全を確保し、歩行者・歩行者・歩行者の安全に留意する。

交通ネットワークの完成イメージ

交通ネットワーク	第1ステップ	第2ステップ
交通ネットワーク	（5～10年を目標）	（10～20年を目標）
交通ネットワーク	〇 歩行者・歩行者の安全 〇 歩行者・歩行者の安全 〇 歩行者・歩行者の安全	〇 歩行者・歩行者の安全 〇 歩行者・歩行者の安全 〇 歩行者・歩行者の安全
交通ネットワーク	〇 歩行者・歩行者の安全 〇 歩行者・歩行者の安全 〇 歩行者・歩行者の安全	〇 歩行者・歩行者の安全 〇 歩行者・歩行者の安全 〇 歩行者・歩行者の安全



■ シンポジウム参加者アンケート結果 ■

当シンポジウムには、一般市民の方をはじめ、企業、官公庁の方などをあわせ、約 220 名に参加をいただきました。そのうち約半数の方からアンケートのご回答をいただきました。アンケートの結果は以下のとおりです。

豊田市都心交通ビジョンシンポジウムに関するアンケート

今後のビジョンとりまとめの参考にさせていただきたく、ご協力をお願いいたします（シンポジウム終了までに回収箱にお入れ願います）。
なお、当日時間内に記入できない場合には、豊田都市交通研究所（Fax：0565-31-9888）まで直接送付ください。

1. あなたの属性は？

1) 居住地
①豊田市（都心地域） ②豊田市（それ以外の地域） ③市外

2) 年齢
②20歳未満 ②20歳代 ③30歳代 ④40歳代 ⑤50歳代 ⑥60歳以上

3) 性別
①男 ②女

4) 職業
①都心部商業者 ②都心以外商業者 ③その他自営 ④会社員 ⑤公務員
⑥教職員 ⑦専門職 ⑧学生 ⑨主婦 ⑩無職
⑪その他（ ）

2. 今回のシンポジウムで最も興味を持った内容は（複数選択可）？

1) 環境負荷低減 2) 市民に愛される生活自然環境 3) 都心居住
4) 職住共存 5) 都心の品格・景観 6) 教育・学習環境
7) 公共交通システム 8) トランジットモール化 9) 駅前空間の整備
10) 地下駐車場ネットワーク 11) 歩行・自転車空間（バリアフリー） 12) かしい交通社会（ITS）
13) 魅力のある商店街の形成 14) その他（ ）

3. 都心が目指すべき9の目標のうち重要と考えられる目標を3つ選んで○印をつけてください。

① 世界で最も進んだ環境負荷低減モデル
② 豊かな水、緑、生態系が調和し、市民に愛される環境
③ 市民が健康であり続け、安心して暮らせる生活環境
④ 経済活力と豊かな暮らしがバランスした新しい職住共存モデル
⑤ 品格ある景観と都心のにぎわい創出
⑥ 豊かな都心文化を育む多様な教育・学習環境
⑦ 都心へのアクセスの主体となる公共交通が快適に利用できる環境
⑧ 歩行者と公共交通が優先され、歩行者が安全に回遊できる都心
⑨ ITSを活用した、誰もが安全で移動することができる『かしい交通社会』

4. 実施された場合に参加してみたいプロジェクトは（1つに○をつけてください）？

1) 市民に愛される環境づくり（緑、景観など）
2) 環境負荷低減に寄与する移動（公共交通利用、徒歩・自転車利用など）
3) 多様な教育、学習環境への参加
4) 都心部への商店立地プロジェクト（出店等）
5) 清掃活動などのボランティア活動
6) その他（ ）

5. 今回研究所が提案した都心交通ビジョンに賛成ですか？

1) 非常に賛成 2) まあ賛成 3) どちらでもない 4) あまり賛成できない 5) 全く反対

6. 魅力的な都心をつくるためのご提案があれば自由にお書きください（枠が足りない場合は裏面もご利用ください）。

7. 今後ワークショップやまちづくりのメンバーとしてご参加いただける場合は連絡先をお教えてください。

ご住所： TEL：
お名前： E-mail：
（お聞きする連絡先は、各プロジェクト実施時の呼びかけ以外には使用いたしません）

●属性

居住地		年齢		性別		職業	
豊田市(都心地域)	23	20歳未満	0	男	100	都心部商業者	4
豊田市(その他)	33	20歳代	11	女	12	都心以外商業者	0
市外	56	30歳代	31			その他自営	2
		40歳代	31			会社員	47
		50歳代	25			公務員	37
		60歳以上	14			教職員	1
						専門職	5
						学生	2
						主婦	5
						無職	4
						その他	0
合 計	112	合 計	112	合 計	112	合 計	107

●最も興味を持った内容(複数回答)

1)環境負荷低減	15
2)市民に愛される生活自然環境	22
3)都心居住	19
4)職住共存	10
5)都心の品格・景観	59
6)教育・学習環境	7
7)公共交通システム	48
8)トランジットモール化	41
9)駅前空間の整備	31
10)地下駐車場ネットワーク	25
11)歩行・自転車空間(バリアフリー)	17
12)かっこいい交通社会(ITS)	28
13)魅力のある商店街の形成	35
14)その他	2
合 計	359

●重要と考えられる目標(3つ選択)

世界で最も進んだ環境負荷モデル	23
豊かな水、緑、生態系が調和し、市民に愛される環境	48
市民が健康であり続け、安心して暮らせる生活環境	22
経済活力と豊かな暮らしがバランスした新しい職住共存モデル	30
品格ある景観と都心の賑わい創出	61
豊かな都心文化を育む多様な教育・学習環境	13
都心へのアクセスの主体となる公共交通が快適に利用できる環境	57
歩行者と公共交通が優先され、歩行者が安全に回遊できる都心	36
ITSを活用した、誰もが安全で移動することができる「かっこいい交通社会」	32
合 計	322

●実施された場合に参加してみたいプロジェクトは(1つ選択)

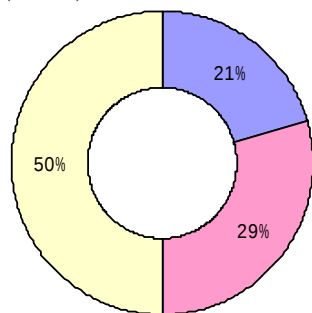
1)市民に愛される環境づくり(緑、景観など)	40
2)環境負荷低減に寄与する移動(公共交通利用、徒歩、自転車利用など)	54
3)多様な教育、学習環境への参加	7
4)都心部への商店立地プロジェクト(出店等)	7
5)清掃活動などのボランティア活動	2
6)その他	0
合 計	110

●都心交通ビジョンに賛成ですか

1)非常に賛成	45
2)まあ賛成	61
3)どちらでもない	5
4)あまり賛成できない	0
5)全く反対	0
合 計	111

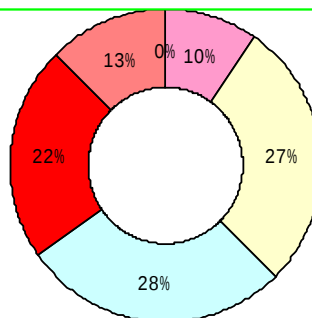


属性(居住地)



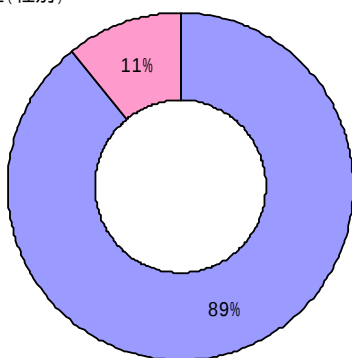
■ 豊田市(都心地域) ■ 豊田市(その他) □ 市外

属性(年齢)



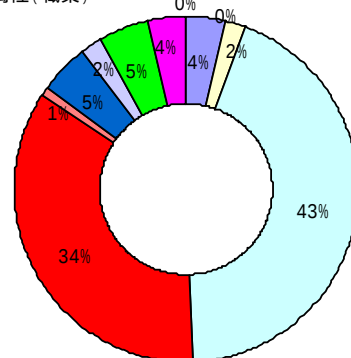
■ 20歳未満 ■ 20歳代 ■ 30歳代
■ 40歳代 ■ 50歳代 ■ 60歳以上

属性(性別)



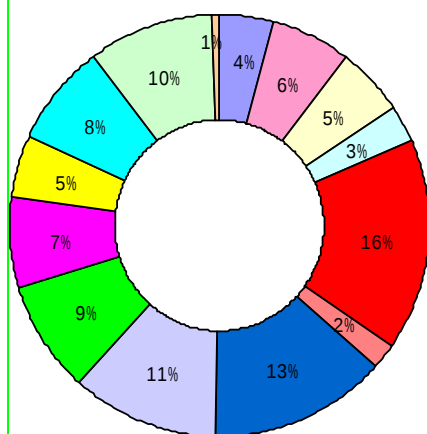
■ 男 ■ 女

属性(職業)



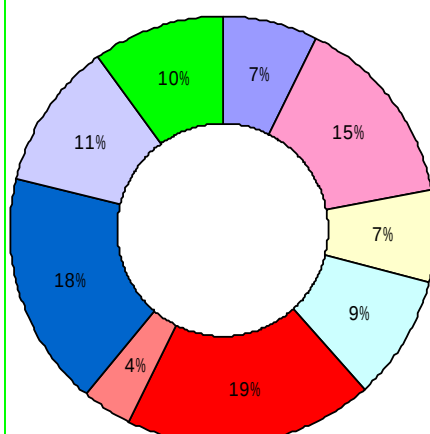
■ 都心部商業者
■ 都心以外商業者
■ その他
■ 会社員
■ 公務員
■ 教職員
■ 専門職
■ 学生
■ 主婦
■ 無職
■ その他

最も興味を持った内容



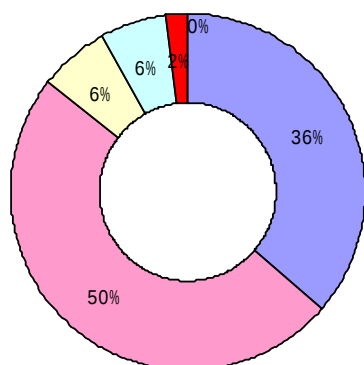
■ 1) 環境負荷低減
■ 2) 市民に愛される生活自然環境
■ 3) 都心居住
■ 4) 職住共存
■ 5) 都心の品格・景観
■ 6) 教育・学習環境
■ 7) 公共交通システム
■ 8) トランジットモール化
■ 9) 駅前空間の整備
■ 10) 地下駐車場ネットワーク
■ 11) 歩行・自転車空間(バリアフリー)
■ 12) かしい交通社会(ITS)
■ 13) 魅力のある商店街の形成
■ 14) その他

重要と考えられる目標



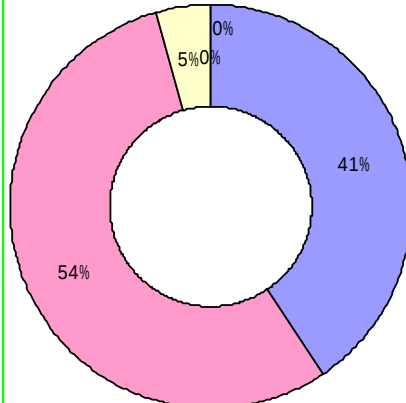
■ 世界で最も進んだ環境負荷モデル
■ 豊かな水、緑、生態系が調和し、市民に愛される環境
■ 市民が健康であり続け、安心して暮らせる生活環境
■ 経済活力と豊かな暮らしがバランスした新しい職住共存モデル
■ 品格ある景観と都心の賑わい創出
■ 豊かな都心文化を育む多様な教育・学習環境
■ 都心へのアクセスの主体となる公共交通が快適に利用できる環境
■ 歩行者と公共交通が優先され、歩行者が安全に回遊できる都心
■ ITSを活用した、誰もが安全で移動することができる「かしい交通社会」

参加してみたいプロジェクト



■ 1) 市民に愛される環境づくり(緑、景観など)
■ 2) 環境負荷低減に寄与する移動(公共交通利用、徒歩、自転車利用など)
■ 3) 多様な教育・学習環境への参加
■ 4) 都心部への商店立地プロジェクト(出店等)
■ 5) 清掃活動などのボランティア活動
■ 6) その他

ビジョンへの賛成度



■ 1) 非常に賛成
■ 2) まあ賛成
■ 3) どちらでもない
■ 4) あまり賛成できない
■ 5) 全く反対

■ 魅力的な都心をつくるための提案(自由意見)

- ・ 居住空間の創出をしていただきたい。トランジットモール化を推進していただきたい。
- ・ 新しい文化と古くからの文化を都心にどのように共有させるのか？
- ・ 豊田市の特徴である多様な外国人住民及び訪問者が参画したまちづくりを考えていただきたい。
- ・ 実行してください
- ・ 長堀 21 世紀の会をぜひここでも。
- ・ 都心ビジョンについてはよく理解でき是非進めていただきたい。その他合併に伴う都心外とのネットワーク、街づくり等都市の総合計画の中で議論されることと思うが交通ネットワークが問題であるのでその面でも検討が必要と考えられる。私は旧足助町に住んでいる。まとまった買い物となると豊田市街地よりも名古屋・三好・岡崎などへ行くことが多い。豊田市街地の再生を強く望む。
- ・ パネルディスカッションの内容とても面白かったです。
- ・ 都心、市全域の住民、商業者、他関係者を含め方向性に関する合意形成が不可欠。
- ・ 公共交通 自動にいつも自在に動く環境に良い乗り物。
- ・ 街路樹愛護活動(枯葉清掃ボランティア)を行いたい。
- ・ 駐車場を地下に。公共交通(地域バス等)充実。
- ・ 職住共存モデルに関する制度、条例等を整備して、緑地・花壇等景観を考慮してほしい。中小企業、商業地は敷地いっぱいまで建物を立て道路を荷役場所とする。
- ・ 人が集まることが前提、その為には昼に働く人を増やす、その為には他都市とのトランスポーテーションの利便性をあげる必要があると思います。私は豊田市から名駅前のオフィスビルに通勤していますが、昨年の名駅前の活性化はツインタワー、ミッドランド更にはルーセントタワーに働く人が増えていると感じます。さらに近郊拠点からアクセスしやすい移動手段の整備(公共の)が必要だと思います。現況では鶯鴨町から休日に買い物行くには名古屋に行ってしまうことになります。
- ・ 都心への集客がキーとなると思います。人が集まらなければビジョンもただのビジョンで終わってしまうので、集客方法の提案と今日は特に期待していたので少し残念でした
- ・ 緑ある都市に魅力を感じます。生存する動物との境界線にも考慮していただけるとうれしいです
- ・ 集客力ある都心を作るためには商業だけでなく文化歴史も必要である。都心のあり方には副都心の配置特徴をまず考えそれを念頭において考える必要がある。都心商業・商工会議所はもっと自助努力をすべきである。都心域をもつと拡大して考えないとすぐ行きづまる。
- ・ 都市の城壁をどの様につくるかが根本的な問題。グリーンベルト等物理的な枠により城壁を認識させる必要がある。
- ・ なんばパークス、福岡アクロスのような緑を主体とした拠点施設(緑の森)の建設。
- ・ 神戸市で EST モデル事業に関する仕事しています。本日は有意義な内容のシンポジウムでした。参考にします。
- ・ 都心周辺とのつながりどうするかをもう少し考えていただきたかった。都心の中心(シンボル)がないと・・・
- ・ 独自の視点活かした指針、基準づくりしてほしい。

- ・ 観光拠点としての取り組みが不足しているのでは？ 豊田市にくる楽しみが付加されるとよりよいものになる。名古屋には集客力のある娯楽が、豊橋には体験できる自然がある、豊田市は？
- ・ 豊田市の国家百年のために。
- ・ 車の町でありながら都市に一般車流入を制限できるかモデルに示してほしい。ただ豊田市の都心といわれる地域は現在都心と呼ばれるほど高度な集積はなくむしろ広大な豊田市域の中心としてふさわしい都心がほしいのでは？
- ・ 市民と一緒に考えるこのような機会をもっと増やしてほしい。
- ・ 文化が要る。世代別に好きな文化が違うのですべての世代が楽しめるもの、都心がいると思う。
- ・ 便利で魅力的な居住空間整備→快適空間の整備。豊田に行けばあれがある、豊田市にしかないものを作りPRする。

(アンケート結果のまとめ)

■ 最も興味を持った内容

最も興味を持っていた内容として、 都心の品格・景観、 公共交通システム、 トランジットモール、 魅力のある商店街の順に興味があると回答いただいた。豊田市の都市としての顔、魅力的な都心に興味を持っていた。また、自動車中心の交通社会の進展に対し、公共交通システム、トランジットモールについても興味を持っていた。

■ 重要と考えられる目標

重要と考えられる目標として、 品格ある景観と都心のにぎわい創出、 都心へのアクセスの主体となる公共交通が快適に利用できる環境、 豊かな水、緑、生態系が調和し、市民に愛される環境の順に挙げられた。上記と同様の内容のほか、環境に対する目標が重要と考えられている。

■ 実施された場合に参加したいプロジェクト

参加したいプロジェクトとして、 環境負荷低減に寄与する移動、 市民に愛される環境づくりの2項目で約90%を占めるなど、環境に対する市民参加に期待できる結果となった。

■ 都心交通ビジョンに賛成ですか

非常に賛成、まあ賛成で95%を占める結果となり、今回研究所が提案した都心交通ビジョンが概ね理解されたものといえる。

豊田市都心交通ビジョンシンポジウム

『研究所の考える将来像』

開催記録

主催 / (財)豊田都市交通研究所

発行年月	2007年3月
編集・発行	(財)豊田都市交通研究所
お問い合わせ先	(財)豊田都市交通研究所
	〒471-0025 豊田市若宮町1-1
	TEL 0565-31-7543
	FAX 0565-31-9888
	URL http://www.ttri.or.jp

